



# 議会だより

みんなの笑顔がずっ〜と輝く町に



土田郵便局で住民票の写し等を交付 (12月定例会)	ページ <b>2</b>
常任委員会レポート	<b>4</b>
町政を問う! いっぱん質問	<b>6</b>
合併前の旧両町決算を認定	<b>10</b>
若者に聞く! 青年回との座談会	<b>12</b>
追跡あの質問のゆくえ	<b>15</b>
私たちの議会傍聴記(3名)	<b>16</b>

## 高浜保育園のおめでとう集会

1月11日、高浜保育園では気持ちも新たに「おめでとう集会」を全園児(108人)で行いました。

楽しかったお正月のお話をしたあと、十二支の劇を観たり、福笑いゲームをしたりして、今年もみんなが元気で大きくなるように祈りながら、楽しい一時を過ごしました。

# 12月定例会

5日～16日

## 土田郵便局で住民票の写し等を交付

土田出張所を廃止することに伴い、出張所で取り扱っていた窓口業務のうち、住民票の写し及び印鑑登録証明書の交付事務を土田郵便局に委託するための規約案件など、議案25件、認定20件（17年度旧両町の決算認定の概要は10ページに掲載）、同意2件を審議し、それぞれ全会一致で可決・認定しました。



1月10日に土田郵便局で行われた証明書交付事務取扱開始式で、郵政公社役員らとテープカットをする細川町長（左から2人目）、小田議長（同3人目）、石田土田郵便局長（同4人目）

### 規約の制定、変更

◆特定の事務の郵便局における取扱い規約の制定  
土田郵便局で住民票の写し等を交付してもらうもの。

### ◆規約変更

- \*石川県町村議会議員公務災害補償組合規約
  - \*石川県市町村職員退職手当組合規約
  - \*石川県市町村消防団員等公務災害補償組合規約
  - \*石川県市町村消防賞じゅつ金組合規約
- 合併に伴い構成市町村が変更となったもの。

### 補正予算

### ◆一般会計

3億4千858万円追加、



井水給湯システムの配管を改修することになったアクアパーク シ・オン（末吉地内）

総額123億5千158万円。  
合併時の職員増の対応に麻務管理システム導入費、保健福祉センター車庫新築工事費、行政改革推進経費、地区自治振興事業補助金、廃校校舎利活用可能性調査委託料、石川県知事選挙費、保育園修繕事業、アクアパーク シ・オン井水給湯系統配管改修工事等の増額

### ◆国民健康保険会計

1千116万円追加、  
総額16億313万円。  
保険給付費等を増額するもの。

### ◆農業集落排水会計

400万円削減、  
総額5億8千728万円。  
小浦地区の事業費確定のため減額するもの。

### ◆公共下水道会計

2千930万円削減、  
総額11億5千744万円。  
事業費の確定見込みにより減額するもの。

### ◆介護保険会計

350万円追加、  
総額15億6千811万円。  
制度改正に伴い総務管理費を増額するもの。

### ◆水道事業会計

・収益的支出423万円減額、  
総額4億3千910万円。  
・資本的収入1千540万円増額、総額1億619万円。  
・収益的支出890万円増額、  
総額4億7千320万円。

### ◆富来病院事業会計

・収益的支出1千12万円減額、総額9億6千131万円。  
人事異動に伴う給与費を減額するもの。

## 助役の選任

### ■助役選任関係条例

◇助役定数の増加  
助役定数を2名とするもの。

◇収入役の事務兼掌  
条例で収入役を置かず、助役が収入役の事務を兼掌するもの。



坪野 高志 助役(坪野)



網木 常一 助役(西海風無)

### ◇課制条例の改正

収入役の補助組織として位置づけていた会計課を町長の権限に属する事務を分掌させる課として位置づけるもの。

### ■助役の同意

◇助役に旧町の前助役2人を選任  
\*旧志賀町 坪野高志氏  
\*旧富来町 網木常一氏

### 条例改正と改正

◇人事行政の運営状況公表条例  
地方公務員法により、人事運営状況の公表の必要事項を定めるもの。

◇名誉町民条例  
名誉町民に関する条例を設けるもの。

◇町立高浜デイサービスセンター設置条例  
志賀クリニックに併設するデイケアセンターがクリニック院長の辞任により、常勤医師が不在となるため、管理運営に必要な事項を定めるもの。

◇地域コミュニティセンター条例  
稗造第2地区の集会所が老朽化により、新築したことによるもの。

### 契約の変更

◇町立統合中学校体育館建設工事(建築)  
カーテンウォールガラス面の防汚塗布等の増工に493万円増額し、契約金額を8億9千218万円に変更、南建設(株)。

◇町立統合中学校体育館建設工事(機械)  
氷蓄熱室外機ユニットを重耐塩害仕様に変更等に458万円増額し、契約金額を9千488万円に変更、北菱電興(株)。

◇公共下水道事業管路工事(51工区)  
新規加入宅用として汚水樹設置及び取付管布設の増工に73万円増額し、契約金額を6千265万円に変更、大和建设(株)。

## 町道の認定

◇県道松木代田線の一部  
徳田大津インターチェ

ンジアクセス道路が完成したことにより、県道の一部を町に移管したもの。

## 議員提出

◇高金利引き下げに関する意見書

国民生活の不安を解消し、その安定を実現するため、次の4項目が実現されるよう国に求める。

- ① 利息制限法の制限利率を、市場金利に見合った利率まで引き下げることを。
- ② 出資法の上限金利を利息制限法の制限金利まで引き下げることを。
- ③ 貸金業の規制等に関する法律の「みなし弁済規定」を廃止すること。
- ④ 日賦貸金業者及び電話担保金融に対する特例金利を廃止すること。

\*提出者  
福田 英雄議員  
ほか議員10名  
(全員賛成)

## 人権擁護委員に

盛本 浩吉さんを推薦



任期満了となる人権擁護委員に盛本浩吉さん(代田)を推薦することになりました。  
(全員賛成)

# 常任委員会 レポート



町職員の仕事始め式（1月4日、志賀町役場にて）

## 総務

議会の3つの常任委員会では、付託された議案等の審査や所管する事項の諸問題について調査を行っています。主な審議内容等を報告します。

### 行革の中で、職員の削減計画は

**問** 合併に伴い、様々な行政改革を断行すべきであるが、その中でも職員の削減計画をどのように考えているのか。

**答** 合併時に445人の職員がいるが、10年後の27年度までには約120名を削減したいというのが合併時の目標である。18年4月1日には435名の計画である。

**問** 嘱託職員でも可能な部門があれば、民間委託することもできるのでは。

**答** 今後の行政改革会議で様々な方面から議論されることだが、合併時に旧志賀町は清掃収集業務全般を民営化した。この例のように、民間委託が可能な業務については、推進していきたいと考えている。

## 子供たちの防犯対策に 行政も全力で取り組むべき

**問** 学童に対する昨今の痛ましい事件が全国で発生し、当町内でも不審者情報が多数ある。

**答** 先日、新大念寺子供会が手作り看板を製作していると新聞に出ていたが、家庭、地域、学校が連携し、日本の宝である子供たちを行政も守っていく必要があり、行政では対策を考えているのか。

**答** 学校や通学路での安全確保を学校にも指導し、

個人レベルでの対応も向上させるなど、安心して生活できるようにしたい。

**問** 子供が間違っただけで防犯ブザーを鳴らしたことがあったが、大人がだれもこなかったと聞いたことがあり、周知する場の提供もするべきである。

**答** 防犯ブザーを取り入れた時に区長会には見せたが、今後もどんな場がいいのか検討してやりたい。

## 教育民生



新大念寺子供会による防犯看板作り（12月10日）



15年の12月から汚泥減量化システム「しき鳥方式」を採用している志賀町中央水処理センター（町地内）

# 産業建設

下水道の汚泥減量化システムとして  
しき鳥方式を広範囲に採用しては

**問** 公共下水道の汚泥減量化事業の内容は。

**答** 中央処理センターで「しき鳥方式」を採用して、汚泥がでていない。

また、西海浄化センターは「悪臭防止・汚泥抑制システム」を採用し、7割の汚泥が抑制されている。

これらは、バクテリアを繁殖させる方法により、汚泥を抑制している。

**問** 富来処理区にも「しき鳥方式」を採用すればどうか。

**答** 18年度は志賀地域の農業排水事業の処理場1カ所にこのシステムを採用し、富来処理区にも今後、採用したいと思っている。  
しかし、この方式で汚泥がなくなることが科学的に証明されていない。

生活環境等対策特別委員会（1月11日）

## 特別委員会レポート

原子力発電所対策特別委員会（1月12日）



田原地内の硫酸ピッチ放置の現状を確認

議会の2つの特別委員会では、それぞれの目的にあった委員会を1月に開催しましたので、その内容を報告します。

**硫酸ピッチを早急に撤去させよ**

■生活環境等委員会  
田原地内で硫酸ピッチが入ったドラム缶が瓦工場跡地の倉庫から見つかった事により、住民から不安の声が出ていることを受け、委員会では現地を視察し、今後のドラム缶の状況を見極め、県等と協議しながら早急に撤去させることを申し合わせました。  
また、羽咋市滝谷

町地内の羽咋市クレー射撃場に鉛弾が堆積し、坪野地区をはじめとする流域に鉛汚染が危惧されていることや、豪雪対策なども協議しました。

**志賀原発2号機稼動へ細心の注意を**

■原発対策委員会  
志賀原発1号機の運転状況と今年の3月に営業運転が迫った2号機の建設工事状況について北陸電力の原発建設所長等から説明を受けました。説明内容では1号機は順調に運転を行い、2号機では試験運転を繰り返しているものの、中にはトラブルも発生したとの報告もあって、委員からは「素晴らし

い技術があっても、気の緩みから事故は起きるものであり、試験運転中とはいえども、様々な事象が発生するのは心外である」など厳しい意見もあり、また、国内最大級となる原発の稼動であり、安全・安心の町づくりのためにも最大限の注意を払って、安全運転するよう強く北陸電力に要請することとなりました。



原子力発電所対策特別委員会（役場会議室にて）

# 町政を問う！

## 4議員が登壇

# いっぱん 質問

<一般質問の会議録を全文公開>

志賀町ホームページ内の「議会情報コーナー」では、一般質問の「会議録」を全文公開しています。ぜひ、ご覧になってください。



### 富来病院の運営状況と 今後の見通しを問う

萬上 俊之議員

**問** 能登地域では医師が不足し、県議会でもそ



の対策として、地元出身医師のリストを作り企業誘致のように一人ひとりに働きかけるといったアイデアが出されていた。病院任せでなく町独自にもっと強力に支援すべきではないか。

また、病院は町民が安心して暮すために不可欠な施設であるが、現状の患者数の推移や借入金の返済計画からみて、今後の経営見通しはどうか。さらに、(財)日本医療機能評価機構による審査に

全国約20%病院が認定を取得し、県内では川のうち30病院が認定を取得している。富来病院もこれに認定されたが、取り組みの背景と、今後どんな効果を期待するのか。

### 利用率維持で安定経営を目指し、 医師不足解消へ働きかけをしたい

【答弁：細川町長】

**答** 医師の充当率は、能登地区の自治体病院で80%台、金沢市周辺での140%と明らかな格差が生じているが、富来病院ではなんと92%の充当率を確保している。

本体の引き下げに伴い、約4千万円前後の減収が予想される。

18年4月には外科、小児科医師を常勤化できるよう医科大等に働きかけを続け、町出身の医者には故郷に来てもらうような努力もしたい。

病院経営の改善は、いかに多くの患者に信頼され、利用していただくかであり、町民が信頼できる地元病院として利用してもらうよう努力する。

また、借入金の償還は15年度がピークであり、17年度以降は約1億5千万円で推移し、経営見通しは、来年度の診療報酬

さらに、認定病院としての直接的メリットはないが、認定病院としてのレベルを維持する努力を続けることにより、病院の基本理念である親切・信頼・快適をモットーに全ての町民が安心して利用できる病院を目指す。

# 総合的な交通政策を 確立せよ

堂下 健一 議員



**問** 路線バス、スクー  
ルバス、コミュニティバ  
スの運行に対する町から

の支出（補助金等）は約  
1億500万円に上っている  
今後、導入が予定され  
る旧富来町地区へのコミ  
ュニティバスの運行にあ  
たっては、無駄のない運  
行計画が求められるがそ  
の考えは。



コミュニティバスを利用し、児童館前に下車する学童たち

## 富来地区へのコミュニティバスは18年度 中に運行計画の素案を示し、効率的で効 果的な交通体系を確立したい

【答弁：細川町長】

**答** 富来地区のコミュニ  
ティバスの運行は、  
18年度中に運行計画の素  
案を示したい。  
また、効率的で効果的  
な新町の総合的な公共交  
通体系の確立のため、関  
係機関と協議を進めたい。

## 中山間地の耕作 放棄地への対応は

**問** 中山間地域の農業  
の振興策や、（仮称）農  
業振興公社のあらましは  
出来ているのか。

また、中山間の直接支  
払い制度が5年間継続と  
なったが、4集落で後継  
者がいないこと、地域の  
取りまとめ役がないこ  
となどで、この制度の活  
用をあきらめざるをえな  
かった経緯もある。

今後、心配される中山  
間地の耕作放棄地に対す  
る対応はあるのか。

## 優良農地の 遊休防止策を図る

【答弁：細川町長】

**答** 農業振興公社は、  
今のところ具体的な計画  
はないが、県の関係機関  
農協、土地改良区などの  
諸団体と協力して、優良  
農地の遊休防止策、付加  
価値の高い特産品づくり、  
地産地消の促進に取り組  
みたい。

## 医療制度改革の試案 に対し町長の考えは

**問** 10月19日に出され  
た厚生労働省の医療制度  
改革案では、国民とりわ  
け高齢者の負担増で、医  
療保険の給付費を圧縮し  
ようとしている。

この改革案では、国民  
の健康をカネ次第のもの  
に変えるものである。  
町民に与える影響を含  
めて、町長の考えを問  
いたい。

## 現段階は試案で あり、見守りたい

【答弁：細川町長】

**答** 医療制度改革に  
当たって、国民が求めて  
いるのは、医療の安心・  
信頼の確保が最優先であ  
る。

また、現在は案の段階  
であり見守りたい。  
影響について算出する  
のは現時点では難しい。

## 国民保護法は 国民を戦争に巻き 込む法律と思うが

**問** 国民保護法に基づ  
き、原発等に対してミサ  
イルや航空機による攻撃  
が予測されている。

もし攻撃されるような  
ことがあれば、防ぎよう  
がなく、当町でもチェル  
ノブイリ事故のような壊  
滅的で悲惨な状況が予測  
される。

また、町の非核平和宣  
言と相容れるものではな  
く、国に国民保護法反対  
を言うべきではないか。

## 国の外国政策に注視 し、場合によっては 苦言を呈したい

【答弁：細川町長】

**答** 最悪の事態が起き  
ないように切に念願する  
と同時に、国の外国政策  
についても注視し、場合  
によっては国や県に苦言  
を呈したい。



## 除雪用ショベルローダーを 海岸清掃にも活用せよ

須磨 隆正 議員



**問** 町に除雪用のショベルローダーが2台あり、年間の使用日数は少なく、使用していかなくても車検などの経費がかかっている。当町の砂浜海岸は大変な距離になり、全国的に海岸に漂流するゴミを除く運動も盛んだと聞く。

そこで、このショベルローダーを改造し、冬期以外の期間は海岸清掃に利用できないか。

### 有効活用面を考慮し、 総合的に検討したい

【答弁：山崎商工観光課長】

**答** 当町は約50キロの海岸線を有し、そこに打ち寄せるゴミ対策は、深刻な問題である。

ショベルローダーの活用には改造費や運転手、助手等の人件費が掛かり、また、増穂浦海岸で利用しているビートルクリーナーを全町海岸で利用する方法もある。

どの方法がよいのか、今後、総合的に検討していきたい。

### 町発注の建設工事業者に対して、建設総合 保険の内容説明会を開くべきではないか

**問** 町発注の工事に対し、隣接する住宅に多大な迷惑をかけ、町で補償金として約4千400万円を支払った経緯がある。

しかし、土地の沈下、隆起移動、土砂崩れ、工作物の損壊等も補償する件も町が補償するのか。

### 特定の保険会社への斡旋はできない

【答弁：浜崎企画財政課長】

**答** 私、個人の考えでは工事請負契約書に保険加入項目を加えることは考えてなく、工事の施行

に関して第三者に損害を及ぼした場合は、工事施工者が賠償する義務があると考えている。

### 請負業者は誠実に対応すべき

【答弁：横川上下水道課長】

**答** 請負業者が第三者に損害を与えたことを認め、店舗側と交渉中であ

り、請負業者には誠実に対応するよう申し入れをしていきたい。

### 業者が負担するよう行政指導する

【答弁：細川町長】

**答** 工事請負契約の約款内容を請負業者が自覚し、損害を受けた店舗と

交渉しているので、交渉が成立するまで、行政指導をしていきたい。

### 町職員の再就職を見直せ

**問** 羽咋地区の有効求人倍率は低く、特に若者や高校新卒者の就職難は深刻な状況である。

そこで、町の退職職員を町の関連施設へ再就職させるよりも、若者を一人でも多く採用できるように優先させるべきではないのか。

### 広報誌等で公募し、 雇用確保をしていく

【答弁：細川町長】

**答** 現在、退職職員を公務の能率的な運営を確保するため雇用しているが、短い期間での措置であり、若い人達がなじまないという業務もある。現在は、臨時職員であっても、ほとんど公募し、選考しながら雇用している状況であり、今後も広報誌等で公募して、雇用の確保をしていきたい。





町公営住宅「サンハイム高浜」(高浜町内)



寺岡 真貴子議員

## 住宅マスタープランの策定と ニュータウン構想の具現化は

**問** (若者)定住促進を目指し、町営住宅整備・宅地造成・民間の賃貸住宅等民間活力の利活用と、多様なニーズに対応する選択肢の統合的な整備が必要である。

そのためにも中長期的な住宅マスタープランを整備すべきでないか。  
また、町長は就任当初より、ニュータウン構想ということ話しているが、それはどのようなものになるのか  
新年度に向け、何か具体的な取り組みを考えているのか。

## 地域住宅交付金事業の中で取り組み、 住宅需要調査に着手したい

【答弁：細川町長】

**答** 将来ビジョンを織り込んだ住宅マスタープランの作成は不可欠であり、18年度から石川県指導のもとで地域住宅交付金事業の中で取り組んでいきたい。  
また、ニュータウン構想も18年度から、旧志賀町で白紙になった旧ニュータウン用地等を含む町有地又は、個人所有地において、住宅・宅地の立地可能性調査、住宅・宅地需要調査に着手したい。

## 町の財産管理と 廃校校舎の有効利用の基本方針は

**問** 集中改革プランや総合計画等各種施策に反映させるためにも、財産台帳の整備を急ぐべきではないか。  
また、合併に伴い町内に同一目的の施設が複数存在する。  
中長期的な維持管理経費の試算、利用者見込み

需要の把握なども含めて、公共施設の統合整備はどのような体制で取り組むのか。  
さらに、今後、志賀地域の学校統廃合も進むこととなるが、廃校校舎の有効利用についての基本方針をどのように考えているのか。

## 利用状況により分類整備に取り組み 廃校校舎は公共施設として再利用を

【答弁：細川町長】

**答** 財産台帳は、将来計画の策定等の基礎的資料としても重要なものとして認識しており、現在、監理課にて利用状況等を確認しながら分類整備に取り組んでいる。  
公共施設の総合企画調整は企画財政課、公共施設の総合的な財産管理は監理課で行い、公共施設

の統廃合は総務課行政改革推進室が担当する。  
廃校校舎の有効利用は、大変難しい課題になると認識している。  
議会及び、各界各層と協議しながら検討し、基本的には、公共施設、準公共的施設として再利用したいと考えている。

# 福祉の向上を目指して

## 平成17年度（4月～8月）旧両町の決算を認定



平成17年度（4月～8月）の旧志賀町、旧富来町の各会計決算20件は、いずれも全会一致で承認しました。  
決算特別委員会での主な審議内容を報告します。

旧両町の「歩み冊子」を製作し、全戸に配布

### 主な成果

◇旧志賀の一般会計  
庁舎改修工事、コミュニケーションバス運行委託、住民記録システム改修事業、老人デイサービスセンター整備事業、町道新設工事、都市計画街路整備事業、統合中学校建設事業、多目的スポーツセン

ター建設工事、総合体育館大規模改修工事など。

◇旧富来の一般会計

富来支所改修工事、観光施設管理業務、漁業振興事業、道路橋梁新設改良事業、小学校スクールバス運行事業、統合小学校増改修事業、神造研修センター建設事業など。

◇旧両町の国保会計

一般被保険者や退職被保険者への保険給付事業及び、老人保健費への拠出金など。

◇旧両町の老人保健会計

入院、外来、調剤等の医療給付事業など。

◇旧両町の農集排水会計

各地区集落での下水道整備事業など。

◇旧両町の公共下水道会計

市街地での下水道管路工事、舗装工事など。

◇旧両町の地域し尿会計  
赤住、百浦、西山処理場の管理や合併浄化槽の設置工事など。

◇旧両町の介護保険会計

介護認定者への施設介護、訪問通所サービスなどの保険給付事業。

◇旧志賀の診療所会計

小児科医療、デイケアサービス事業など。

◇旧富来の育英資金会計

育英資金の貸付事業。新町からはこの会計を廃止し、基金運用で行う。

◇旧富来の簡易水道会計

熊野、鶴野屋、地保地区への水道供給事業。

◇旧両町の水道事業会計

上水道指定区域への水道供給事業であり、旧志賀地区での建設改良では、清水浄水場電気設備の更新、中甘田地区の配水系

拡張事業を実施。

◇旧富来地区では、施設

の次亜塩素素注入装置設置工事等を実施。

◇町立富来病院事業会計

富来地頭町地内にある町立病院の総合医療事業。

### 17年度（4月～8月）旧富来町各会計決算額

会計名	歳入額	歳出額	
一般会計	24億2,770万円	18億8,097万円	
国民健康保険会計	5億2,209万円	4億1,771万円	
老人保健会計	5億9,643万円	5億2,202万円	
農業集落排水会計	387万円	315万円	
公共下水道会計	1億537万円	1億400万円	
地域し尿処理会計	946万円	738万円	
介護保険会計	4億628万円	3億5,487万円	
育英資金会計	6,223万円	330万円	
簡易水道会計	747万円	730万円	
水道事業会計	収益の収支(税抜)	1億534万円	1億508万円
	資本的収支(税込)	2,000万円	4,005万円
病院事業会計	収益の収支(税抜)	6億2,671万円	6億5,017万円
	資本的収支(税込)	3,000万円	5,212万円

### 17年度（4月～8月）旧志賀町各会計決算額

会計名	歳入額	歳出額	
一般会計	33億462万円	28億4,203万円	
国民健康保険会計	4億9,607万円	4億5,410万円	
老人保健会計	6億4,705万円	6億903万円	
農業集落排水会計	3,587万円	3,094万円	
公共下水道会計	1億508万円	1億361万円	
地域し尿処理会計	540万円	175万円	
介護保険会計	4億3,864万円	3億6,093万円	
診療所事業会計	3,174万円	2,652万円	
水道事業会計	収益の収支(税抜)	1億6,290万円	1億2,044万円
	資本的収支(税込)	529万円	1億1,670万円

※1万円未満は切り捨て

# 更なる町民

## 主な審議内容

### 乳幼児医療や人間ドックの助成は

**問** 乳幼児医療費の助成や、人間ドックの受診に係る助成制度はどのようになるのか。

**答** 旧富来町では保育園児までが乳幼児医療費助成の対象だったが、合併後は中学校卒業までとなり、月額500円を超えた金額は全額町が助成する。

また、人間ドックの助成も旧富来町にはなかった制度であり、今後は自己負担5千円で申し込み、差額(4万5千円を限度)を町が助成する制度となる。

### 滞納対策にプロジェクトチームを

**問** 町には税金、住宅使用料など、膨大な滞納額があり、プロジェクトチームを組んで徴収すべきと思うが。

**答** 旧志賀町では滞納すれば差押えするなど、厳しく対処してきた。

今後も滞納対策の専門員を税務課に配置するなど、厳しく対処していく考えである。

また、納税意識があっても直ぐに全額を納税できない場合は、分納にするなどの納税相談も行っていきたい。

### 地籍調査は市街地から開始すべき

**問** 地籍調査事業は富来支所周辺は終わっているのか。終わっていないれば中心部からやるべきではないのか。

**答** 富来区域では熊野地区から始めたもので、

それ以降は今のところ順番に調査する考えである。効果的には中心部がいいが、境界設定のトラブルが多いとの予想もあり、今後は検討したい。

**問** 高浜市街地は固定資産税が高く、調査をしていない支所周辺とはかなりの開きがある。

できるだけ早く是正するべきでは。

**答** 地籍調査事業は税の均衡を図るばかりではなく、町民の財産を確立するものである。

また、地籍調査に着手していない市街地などは宅地以外の地目でも宅地並みの評価をするなど、均衡を図る必要がある。しかし、この事業は国の補助事業であり、進捗状況も国の採択内容で変わってくるが、旧両町を均一にするためにもできるだけ早く進めたい。

### 旧熊野小での草木染めの見通しは

**問** 旧熊野小学校を活用し、草木染め教室を行っているが今後の見通しは。

また、せっかくの校舎であり、色んなことに活用すべきであり、草木染めは文化芸術として支援するのか、将来的に商業ベースとしても考えているのか。

**答** 今のところ、収入はないが、将来的には二面性も持っている。

また、最終的には特産化を目指してやっているもので、指導している講師も校舎に住んで地域の方と交流もしている。

### 松島 信夫 決算特別委員長のコメント

旧両町の各種会計では町債(借金)残高が増加し、健全な財政運営が求められる中で、旧両町を合わせて約20億円という膨大な町債残高がある。今後も国の三位一体改革等により、国からの補助金や交付金の見直しが進められ、一層慎重な財政運営が求められる。

中学校や高齢者支援施設の建設、様々な公共施設の管理運営など当町の課題も山積している。そんな中でも町民の様々な要望、付託に答え、合併してよかったと全ての町民が笑顔で生活できるように、効率的かつ効果的な事業の執行に努めてもらいたい。

# 期待する施策、事業とは

## 青年団との座談会

議会広報特別委員会では、町内の若者がどのように町を思い、町政に何を期待するのか。また、どうしたら若者が町に定着するようにするのかとの思いを聞くため、昨年の12月14日、志賀町青年団協議会との座談会を役場にて開催しましたので、その内容を報告します。

\*発言  
青 青年団協議会々員  
広 議会広報委員会委員

### 町内全域にインターネットの高速通信を

広 当町に住む、皆さんがどんな気持ちを持っているのか聞きたい。

まず、若者が期待する施策(事業)はどんなものがあるか。

青 インターネットだけでも市街地の同範囲しか高速通信ができず、それ以外では不便である。

広 青年団活動を行う上で不満はないのか。

昔はダンスパーティーを開いて青年団同士が交流することもあったが。

青 新入団員の歓迎会もあるが、公共的な職員がメインの団員構成が進み、民間会社の方が参加しにくい状況である。

### 青年団を認識していない若者もいるのでは

広 ある若者の話では、青年団活動をする組織自体を知らないという人もいたが、団員の確保も難しいのでは。

### 少子化対策として考えられることは

広 少子化対策として考えられることは。

青 結婚された方は1人か2人は子供がいるが、結婚されていない方にどのように結婚を勧めるべきかである。

広 行政では若い方を集めて合コンを企画したこともあったり、町でも様々な支援策をしているが、皆さんが結婚するしたらどうか。

青 各小学校単位の校下でも青年団があったが、人数不足もあって、各校下青年団の活動もまばらになり周知も難しい。

青 結婚が決まっていとなかなか現実には考えられないが、まず、若い人が集まる場がないと思う。

### 家族を持っただけの考えは封建的だと思う

広 青年団での出会いの場は、大きい枠組みの中であるのか。

青 青年団員も自分で行動することで、結婚を勧められることがよいな

お世話だと感じる人もいる。昔は国策で産めよ増やせよという時代であり、全国的に出生率の低下も若者は分かっているが、行政はお金をまくことしか考えてないのかと思うし、家族を持っただけの考えは封建的な考えで、上からものをいうだけだとも思う。

広 それでも若者に魅力ある町をつくるため、何かできることを考えるのが行政である。



# 若者が



## 民間の集団見合いと違うことを行政がすべき

**広** やりたいことが行政にわからなければ提言もしづらい。

**青** 具体的には今の整備で十分だと思う。やりた

## 若者に分かるような施策とはどんなこと

**青** 行政がてこ入れすることは一つのことではなく、衣食住を一緒に考えた統括的なことであって

い人にはそれなりの制度があると思うし、民間的集団見合いもあると思うが、それとは違うことを行政ができるかである。

逆に若者に分かるような施策としてはどんなことをしてきたのか。

**広** 例えば、仲人奨励金 出産手当、児童手当、チャイルドシート購入費補助など当町は手厚くやっているが、昔は結婚しないのは異常というイメージがあったが、今は好きな人がいない限りしないというものであって、いくら仲人や親が言おうがという時代である。



## 田舎は田舎なりの魅力があるべき

**広** ニュータウン構想はどうか。

**青** 家は後から来るもので、先に雇用や遊ぶところがあるべきである。

**青** 町内には高校までしかなく、一度町外に出ると戻って来難い。

**広** 確かに都会では遊ぶところがいっぱいあるが、田舎では仲間を募り、自分たちで作出すしかない、自分たちで企画して



やるべきであるが、田舎は田舎なりの魅力があるべきで、その魅力があっ

## 若者が意見を言える場がないのでは

**広** 自分たちの意見が反映できる場があればいいと思わないか。

**青** 今のところそんな場はない。

**広** 色んな会議も年配の男性が多いかもしれない



たから私は戻ってきたものであり、それが大事では。

**青** その考えは賛成。私もそう思う。

が、若者の意見も必要だと思うが。

**青** 意見をいう場もないが、とはいえ、実際にその場にでても分かりにくく、まだそんなことは考えてない。(次ページに続く)





## 青年団との座談会

帰ってきて良かったと思っている

【広】この中でUターンをした方は、

(ほとんどが拳手)

【広】どうして帰ってきたのか。

【青】一度町外に出てみたかった。こちらで就職する機会があり帰ったが、向うの友達は浅い付き合い



いで、こちらは昔からの付き合いがあり、近所も知っていて帰って来て良かったと思っている。  
【青】やはり近所とか安心感があつて、そういう繋がりでいると思う。  
【青】半島で地理的や悪天候など不利な条件もあるが、帰りたくても働き場がないと帰れない。

### 若者の意見が反映できる町を目指して

【青】ここは住みやすいとは思いますが、仕事があつても職種が絞られバランスの悪さを感じる。  
【広】自分たちの意見が町に反映でき、町を作っているという思いができればもっと町に住んでいるという実感が持てるのでは。

【青】こういう場があれば普段思っていることも言えるし、私の場合、田舎の方が先駆者になれると思つて帰ってきた。  
【広】今日の座談会での意見など、今後、少しでも皆さんの夢が叶えられる町にしたい。



### ■座談会に参加してくれた青年団協議会の皆さん

- \*町岡 祐介 副会長
  - \*森 知恵美 副会長
  - \*田舎 寛章 さん
  - \*三浦 香奈 さん
  - \*中森源一郎 さん
  - \*瀬戸麻理子 さん
  - \*福田 晃悦 さん
  - \*西浦ひとみ さん
  - \*小谷内太士 さん
  - \*大崎 祥司 さん
  - \*岡 真輝 さん
  - \*藤田 健人 さん
- (順不同)

### ■参加した議会広報委員

- \*寺岡真貴子 委員長
- \*南 政夫 副委員長
- \*橋 照茂 委員
- \*下池外巳造 委員
- \*堂下 健一 委員

### 熱意が伝わり 貴重な経験に

志賀町青年団協議会  
会長 小泉 亨氏



座談会で意見のあった少子化対策、雇用問題は、最も重要な政策問題の一つであると思う。町に期待することは、住民の意見を広く聞き、長い目で見た社会環境の整備を進めていくことであり、議会広報委員の町民に対する思い、諸問題への対策案、町を発展させるための政策など熱意が伝わり、さらに若者の意見に真剣に耳を傾けてくれ、貴重な意見交換の場となった。今後も青年団活動を通じ地域社会創造の担い手となるべく働きかけていきたい。

### 議員の一言コーナー

### 議会報が町民と議会を繋ぐ架け橋に

「情報開示」、「説明責任」という言葉をよく耳にする時代になりました。行政と住民がより良い町作りを共に進めていく上において、情報の共有が大前提となるからではないでしょうか。  
この「議会だより」は、議会からの積極的な情報発信はもとより、さらに一歩進めて、住民の皆さんにより関心を持っていただけるよう、住民参加型の紙面作りを心がけています。  
本号において、初の試みとして座談会形式の企画を設けました。青年団協議会の皆さんから活発なご意見をいただき、この議会だよりが住民の皆さんと議会を繋ぐ架け橋となりうることを改めて実感しました。  
より開かれた議会の実現を目指し、これからも様々な企画に取り組んでいきたいと考えています。  
(寺岡 真貴子)

# あの質問のゆくえ

平成16年以降の議会（旧両町分含む）で行った一般質問での提言のゆくえをレポートしました。



代田  
盛本美和子さん

### 町民の一言

土田地区に住む者として、出張所が閉鎖され残念に思っていたが、志賀町と土田郵便局とのタイアップにより、今後も取扱いができることになってうれしく思っている。  
土田郵便局が志賀町内で第1号ということでもあり、他の地区にも広がればいいと思う。



志賀町役場土田出張所を17年末で廃止したことに伴い、同出張所で取り扱っていた住民票等の交付事務を土田郵便局で行ってもらうことになり、12月22日に土田郵便局長と町長が調印した。

### 問

郵便局で住民票の発行を

（16年3月議会）

費用対効果の観点から検討が必要

### 問

公共施設でのアスベスト対策は

（17年10月議会）

### 答

状況に応じて除去工事等を講じる

### 問

空き小学校の跡地利用方針は

（16年9月議会及び17年12月議会）

### 答

有効利用に努力していく



議会で堀松保育園の現状を確認

公共施設を調査した結果、いくつかの施設で改修の必要な所が見つかり、中でも堀松保育園の保育室（天井）に吹付けされているのが判明し、飛散はしてないものの除去することとした。



議会で染色工芸工場の現状を確認

熊野小学校跡では金沢美大卒業生2人を講師に招き、17年4月、草木染めの染色工芸工房「熊野工芸工房」を開設し、現在、町内外から40名を超える受講生がいる。

子供たちの安全対策のため、工事をしてくれることに感謝している。世間を騒がせているアスベストであり、最初、聞いた時はびっくりしたが、安心して任せるしかなく、無事に工事が終わることを祈っている。



神代 藤井由美子さん

### 園児保護者の一言

廃校校舎だが一步中に入ると、優しい笑顔で2人の先生が迎えてくれる。各受講生は気の合った者同志。世界に2つと同じ物が生まれたい染めの楽しさを町民の皆さんに伝え、新たな受講生を笑顔で待っている。



小窪 平泉 洋子さん

### 受講生の一言

# 第17回富来を描く美術展「県知事賞」の作者に聞く!



作品名「荒磯」



坂井 信子さん(七尾市)

暗く沈んだ空と海の間で、雲間からもれる日の光を受け、大きくうねりながら岩壁に打ち寄せる白波。  
日本海の厳しさを象徴したように思え、挑戦してみたかったモチーフでした。

芸術文化の振興を願い、美しい能登金剛の自然をはじめ、夢などを描いていただく公募展を毎年開催しています。  
昨年(2023)の11月には第17回の審査が行われ、次の方が県知事賞に選ばれましたので、作者の感想を交え、ご紹介させていただきます。

## 私たちの議会傍聴記

12月8日の第2回志賀町議会定例会に議会傍聴をしてくれた方々のうち、3人の意見・感想を掲載します。

正見の心で頑張っ  
てほしい



瀬戸 春美さん  
(仏木)

新志賀町となって、間もない  
せいか、私たちのほかにもたく  
さんの方が傍聴されており、傍  
聴席はいっぱいだった。

議会が始まり、緊張感と感動  
が走った。交通政策や住宅政策、  
医療制度改革案のことなど、  
色々な観点からの質問で、よく  
勉強されているなと感じた。  
合併に伴い、問題点が多々生  
まれていると思うが、一つひと  
つを速やかに解決に向うよう努  
力してもらいたいと思う。

これからも合併してよかった  
と町民が思えるような良い町づ  
くりのために「正見」(自分を  
勘定に入れず、正しい判断)の  
心で頑張っしてほしいと願っ  
ている。

一般質問者が4人  
とは少々少なすぎる



磯 ケイコさん  
(富来高田)

合併後、最初の議会の傍聴は  
残念ながら行けなかったが、今  
回は聞くことができた。

旧富来町議員の声が高らかに  
中身の濃い質問であり、旧富来  
町の住民として、このような議  
員たちがいることは町の誇りに  
覚え少々興奮し感動した。

また、旧志賀町議員の質問で  
は、現実的でこれこそが生活に  
密着した質問であり、住民と行  
政が互いに痛みを分け合う問題  
だと共鳴した。

まだまだ合併に関しては準備  
不足、勉強不足はなすが、  
一般質問者が4人とは少々少な  
すぎると思った。  
皆様方も一度傍聴してはいか  
ら。

住民の声が町政に  
反映できるように



平野外志子さん  
(大島)

初めての議会傍聴で、合併後  
の新町議会でもあるので、興味  
もあり緊張して聞いていた。  
その内容も関心のあることは  
かりで、あつと言つ間であつた  
が、町政を知る良い機会に恵ま  
れ、有意義で貴重な時間だった。

町も広くなつて、今以上に  
色々の問題も出てくると思うが、  
町民の代表である町長、町議の  
方々に、より一層頑張っ  
てほしいと願っている。

「住民一人ひとりが豊かさを  
実感できる町に」  
「住民の声が町政に反映でき  
るような町に」  
「やっぱり志賀町に住んで良  
かったと思える町に」なるよう  
町政に大いに期待している。